

協働のまちづくり支援金 モデル的事業 提案書（新規事業）

団体名：丹生川まちづくり協議会

1. モデル的事業実施の背景	
まちづくりの目標・目指す姿など	
「地域の魅力を大切にし心豊かに笑顔で暮らせる元気なまち」をつくるため、地域で若者が活発に活躍できる体制づくりを整備する。	
まちづくりの課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参画する若者が少ない。 ・若者の意見がまちづくりに反映されていない。 ・地域の問題に関心を持つ若者が少ない。 ・地域活動に閉塞感が生じ始めた。 	
2. モデル的事業の内容	
事業名	丹生川まちづくり青年部活動事業
対象、方法など	<p>平成29年度、丹生川の若者に地域のまちづくりに関心を持ってもらう事を目的に、各地区公民館から10名と公募等で5名の計15名で「丹生川まちづくり青年部」を立ち上げ、毎月1回丹生川について学び地域の課題を洗い出し、自分達がやってみたいことを議論したことで終了した。</p> <p>モデル事業では、前年度の活動を踏まえて丹生川まちづくり青年部を主に継続的なまちづくり活動に参画するために、活動の内容に地域の課題を発掘し、その解決への取組み方法等の研修や実際に課題解決に向けた事業の企画と実践及びその効果分析をすることとし、地域で活躍できる人材育成及び地域に活力を生む取り組みが継続的に推進できる事業とする。</p> <p>2ヶ年計画（平成30年度～平成31年度）</p> <p>【平成30年度】</p> <p>4月 地域学習</p> <p>5月 課題についての勉強会</p> <p>6月 丹生川の未来を語る若者の会</p> <p>夏 若者の会を踏まえて事業計画作成、まち協へ提案</p> <p>秋 視察研修（まちづくり先進地）でのヒアリング調査、調査のまとめ研修を踏まえて事業計画作成、まち協へ提案</p> <p>冬 活動報告会（取り組み評価など）、次年度事業の詳細確認</p> <p>【平成31年度】</p> <p>夏 地域学習、地域課題の洗い出し</p> <p>夏 視察研修（まちづくり先進地）でのヒアリング調査、調査のまとめ</p> <p>秋 研修を踏まえて事業計画作成、まち協へ提案</p> <p>冬 活動報告会（取り組み評価など）、次年度事業の詳細確認</p>
先駆的、効果的な内容	・若者が企画・実施することによって地域行事に若者が多く参加し、また若者同士の輪が広がるのが期待できる。

- ・若者の参加によって、これまで参加者でいた地域行事に主体的に取り組めるようになる。
- ・若者の柔軟で独創的な発想で、地域の新たな魅力の発見・創出がされる。
- ・若者らしい考え方の共有・すり合わせができ、課題に対する共通認識を持つことができる。
- ・地域課題の洗い出しや事業に参加することによって、地域の現状を把握することができる。
- ・課題に向けた対処方法の提案やまちづくりの研究、研修などの企画、運営できる力を養う。
- ・SNSを使った情報発信の取り組みや、新たな若者のつながりができる。
- ・まちづくりの先進地での視察研修を通して、他地域の活動を学び、次世代の青年部やまちづくり協議会の活動の参考とする。
- ・丹生川について、問題意識をもち改善しようとして取り組んでいく人材の育成や仲間づくりの場にしていく。
- ・ほかの部会と連携した事業展開が可能。
- ・丹生川まち協のコーディネーターとして継続的に地域活動に参画する。

3. モデル的事業の効果の見込み

丹生川地域についての関心が高まり、意欲的に地域行事に取り組んでいくことができ、将来的に地域運営においてもリーダーシップを発揮し、安心して地域を任せることができる。

青年部の活動により、若者同士のつながりができることで新たなまちおこし活動の創出やほかの団体との連携がとれる。

青年部の第1期生、第2期生と世代をまたぎながら若者がまちづくりに参加することで継続的に青年部活動事業が展開できる。